



口加だより

平成27年10月31日発行
長崎県立口加高等学校
第7号

あやめが丘の窓から

受験生よ、第一志望を貫け！

校長 下 釜 祐 保



枕草子では「秋は夕暮れ」。放課後になると、遅くまで3年生は希望進路実現に向け補習や自学に専念し、1・2年生は部活動に汗を流している。夕焼け雲の下、若者の頑張る姿は青春ドラマそのものでエネルギーを感じる。10月の古称は「神無月」。俗説では、この時期、全国の神々が出雲大社に集まり、諸国が「神無し」になることがその名の由来とか。勝負ごとの前には神頼みもしたい心境だろうが今は神も無し、自分を信じて精一杯、目標に向け努力して欲しい。

ところで、この10月にはラグビーのワールドカップ大会の話題が沸騰した。日本は初戦で、世界ランク3位の南アフリカ共和国に大勝利を収め、国中が歓喜に沸いた。とりわけ、五郎丸歩選手のキック前のあのポーズは一躍注目を集めた。失礼ながら、最初は神頼みをしているのかと思ったが、下半身の力を抜き集中力を高めるためのルーティンだという。この動作を始めてからキックの成功率が飛躍的に安定したらしい。自分のルーティンを決めて実行することは、精神が落ち着き、良い結果につながりやすいことが科学的にも証明されている。

先日、離島で医師をしておられる方と話をする機会を得た。一番大切なことは、「何が何でもこの人の命を救うんだ」という一念だそうだ。この信念があれば、知識や技術は自然と身につくものらしい。否、身につけざるを得ないのかもしれない。なぜなら、他に医師はいない。「専門外です」などとは言えない。別の選択肢、つまり逃げ道はないのである。

土日も毎週休みなく登校する受験生よ。毎週、模試・模試、補習・補習の繰り返しであるが、このルーティンの中で、第一志望に対する信念があれば、それに必要な力は自然と身につくものなのだろう。否、身につけねばならない。受験生にとっても「逃げ道」はないのである。

11月になれば、神々もそれぞれのお国に戻られよう。センター試験まで残すところ後80日。神頼みも結構、熱血の先生方に要点を教わるも結構。受験生としてのルーティンを壊すことなく、そして、第一志望から目を離すことなく、まっすぐに志を貫いて欲しい。



11月行事予定

日(曜)	全校	1年	2年	3年
3日(火)	大学別オープン			
5日(木)	県高校駅伝競走大会			
7日(土)		補習	補習	対外模試(~8日)
10日(火)		玉成園		
11日(水)	人生の達人セミナー			
12日(木)	校内弁論大会			
14日(土)				対外模試(~15日)
16日(月)	開校記念日(113周年)			
17日(火)		玉成園		
19日(木)	考査時間割発表 / 交通安全学習			
20日(金)	補習中断			
26日(木)		期末(~12/1)	期末(~12/1)	学年末(~12/1)

《その他の行事》

- 生活創造コース……………13日(金)2年保育園訪問
14日(土)家技検 洋2級 和1級
20日(金)2年幼児親子交流④
- バスケット部……………7日(土)中地区新人戦(~8日)
- ソフトボール部……………1日(日)選抜県予選(10/31~)
- バレー部……………7日(土)冬高予選(~8日)
- 卓球部……………21日(土)新人戦(~22日)
- 放送部……………15日(日)県大会
- 進路指導関係……………13日(金)2年就職公務員模試②



国体出場選手より結果報告！

今月2日~6日に和歌山で行われました国体へ、野中和馬君と高木駿一君が出場しました。

○野中和馬君 種目：少年Aハンマー投げ

今回は僕にとって生まれて初めての全国大会でした。予選大会の方が緊張していましたが、本大会ではリラックスして競技に挑むことができました。しかし、3投とも自分が思う会心の投げが出来なかった事が悔やまれます。それも今の自分の実力です。部活で培った力をこれから受験に注ごうと思います。

○高木駿一君 種目：少年普通800m

先日行われた国体で、自分の高校陸上が終わりました。先生と共に目指してきて、あそこまでいくことができました。家族、先生方、陸上部、関わってくれた人に感謝しています。とても力になりました。ありがとうございました。次は勉強となりますが、部活にかけていた分を今後勉強にかけます！！志望校合格に向け頑張ります！！



田口愛実さん 弁論県大会で最優秀賞！

10月15日に開かれました県高校総合文化祭弁論大会で2年1組の田口愛実さんが、最優秀賞に選ばれました。演題は「オープン・ザ・ドア」。本人の体験に基づき、自分の悩みを人に伝える勇気を持つことの大切さを訴えました。田口さんは、11月12日に九州大会宮崎大会と、翌年8月に広島で開催される全国高校総文祭への出場が決定しました。応援、よろしくお願いします。

人権学習～「いじめ」について考える～

10月15日（木）に全校生徒・職員で「いじめ」についてDVDを鑑賞し考察しました。国内でもいじめを苦に自殺する若者のニュースを耳にします。私たちはこの「いじめ」に対してどう向き合い、そしてどのような改善策を見いだしていけばいいのか。それを熟考する機会としました。

【生徒の振り返りより抜粋】

- 「いじめ」という表現がよくないと思います。「傷害」や「自殺教唆」「窃盗」等、軽々しくない言葉で事に取り組んでいけば、子どもたちも「自分たちは大変なことをしている」と感じるのではないのでしょうか。
- 自分がいじめられた時に、親にそのことを言えない人が多くいることに驚きました。言い合える親子関係が築けているかどうか「いじめ」に深く関わっているのではないかと、思いました。
- 生徒間で起きた問題を最終的に解決するのは生徒達であると思います。いじめが発生しない環境をクラスの中で作っていくことが今自分達に出来る解決策の一つだと思います。世界的にもこの「いじめ」の問題は大きく取り上げられており、各国独自の対策が練られ実施されています。私達は、まず「いじめ」をしっかりと問題として捉え関心を持って向き合っていく事が全員に求められています。

センター試験100日前集会

10月8日（木）にセンター試験受験者対象に集会を行いました。校長先生、学年主任の先生、そして各担任の先生から、試験まで100日を切った生徒たちに熱い激励があり、生徒たちは真剣に聴き入っていました。受験指導に関わる先生も集まり、一致団結してこれからを戦いきります。また、2年生からサプライズ映像があり後輩達のエールに嬉しそうに笑顔をほころばせながら見ていました。最後に、生徒を代表し3年1組福田秀君の決意表明で気持ちも新たにセンターへ向けて努力することを誓っていました。



今月の生活創造コース&家庭クラブ

【家庭クラブ総会】

10月8日（木）長崎県食品安全・消費生活課の青崎孔先生を講師に招き、私たちを取り巻く消費社会について教えていただきました。

《2年生》

10月10日（土）口之津図書館でお話会を行いました。

《3年生》

10月7日（水）玉成園にて、着脱と排泄の実習を行いました。

10月14日（水）玉成園デイサービスを訪問し、利用者の方々と交流しました。



芸術鑑賞会

10月27日（火）に芸術鑑賞会がありました。本校では3年に一度開催しており、今年度がその年にあたります。今回は劇団「ショーマンシップ」による『ノートルダム物語』を鑑賞いたしました。「レ・ミゼラブル」でも有名なヴィクトル・ユゴーの作品で、人権問題や倫理的な難しいテーマを笑いあり・涙あり・大道芸ありで仕立ててあり、とても興味深く楽しんで観ることができました。見所の一つに生徒による出演があり、45分という短いリハーサルでしたが見応えのある演技で皆を楽しませてくれました。間近でプロの迫力ある演技を観ることができ、貴重な体験となりました。

●兵士役：2-2 渡部佳太朗くん●

今回初めてプロの劇団の方々と共演して楽しかったです。普段できないことが体験できて、良い経験になりました。

●街のジプシー役：1-2 松尾穂乃果さん●

プロの方と共演できたので、とても良い経験になりました。これから進路を考える時に役立てたいと思います。



ちょっとイイお話・・・

劇団スタッフによると、劇団のトラックが本校への細路で立ち往生した際、口加高OBの軽トラック運転手の方・みかん農家の方々がお仕事にも関わらず道案内や誘導を下さったそうです。地元や地域の方々に支えられている口加高校だと感じさせてもらえるエピソードでした。関わってくださった皆様、本当にありがとうございました！

職員ペンリレー 田口 麻琴先生（地歴科）

こんにちは。ペンリレーで何を伝えたらいいのだろうと考えていたら、この言葉が今の皆さんにぴったりかなと思ったので紹介します。

その言葉は「今を変えなければ、未来は変わらない」です。この言葉は、先日ラグビーのW杯で日本代表チームは予選敗退ながらも、新たな旋風を巻き起こしました。その中で注目をされたのが五郎丸選手です。彼が、前回のW杯前のミーティングの時に、カーワン前ヘッドコーチに言われた一言です。ヘッドコーチが五郎丸選手に「未来は変えられるか」と聞かれ「変えられます」と答えたら、ヘッドコーチは「違う。おまえが変えないといけないのは今だ。今を変えなければ、未来は変わらない」と。この言葉を支えに五郎丸選手は今やるべきことに集中し、今回の活躍につながりました。

皆さんも、「何かをやるのが面倒くさいな」とか思うこともあるかもしれません。けれど未来の目標や夢に向かって今からを変えてみませんか。